



## 提供システムの利用拡大に伴う認証強化のため、 専用プライベートCAから発行されたクライアント証明書を導入



創業 1910年

URL <https://www.uchida.co.jp/>

1910年に中国の大連で創業し、2025年に創業115周年を迎えた株式会社内田洋行は、ICTと環境、民間と公共のビジネスがバランスよく構成されるユニークな事業構造を活かし、「働き方変革」「学び方変革」の革新と創造に取り組んでいます。今回は、GMOグローバルサインのクライアント証明書発行サービス「マネージドPKI Lite byGMO」とお客様専用認証局サービス「カスタムCA」を導入した経緯などを、校務支援システムと高齢者介護・障がい者福祉システムのご担当者様にお伺いしました。

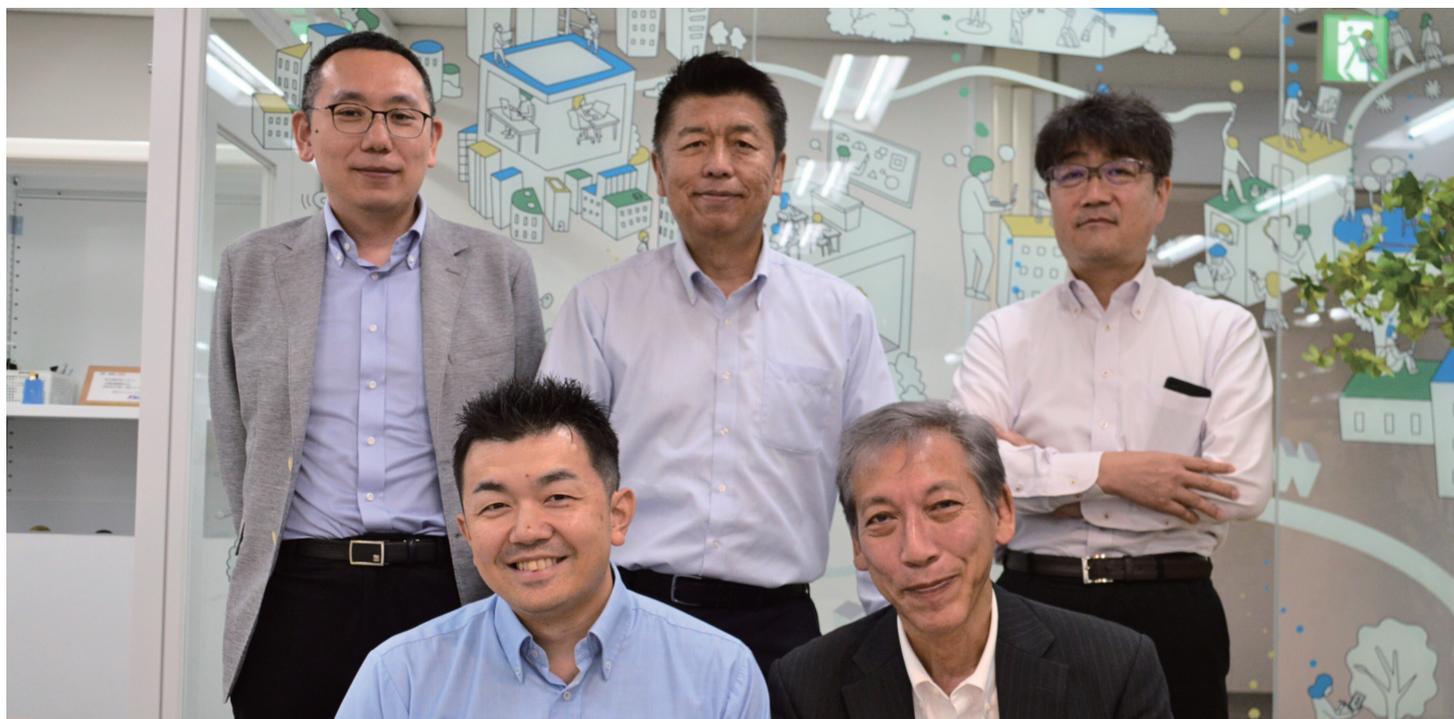
### — どのような事業を展開されていますか？

**ご担当者様** 内田洋行は、創業以来、民間企業・官公庁・学校等のお客様の「働く場」「学ぶ場」の革新と創造に取り組み、ICT関連事業（約65%）と環境構築関連事業（約35%）という売上構成比率となっています。今後の日本社会は、少子化にともなう急速な生産年齢人口の減少という重大な社会構造変化に直面し、人の生産性の飛躍的向上と、答えのない時代を担う人材育成が大きな社会課題となります。また、デジタルトランスフォーメーション（DX）を推進するAI・データ活用の拡がり、社会に革新をもたらす可能性を秘めています。そのような中で、変革を進める人を支える「働き方と働く場」「学び方と学ぶ場」の革新はますます重要になると考えます。

教育分野では、全国の小・中・高・大学などの教育機関に対し、先端的な学びの場を提供し、いつでも・どこでも・だれでも教育を受けられる環境の整備とICTの利活用を推進しています。オフィス分野では、環境構築とICT構築の両面におけるノウハウを結集し、新たな働き方を実現するためのワークスペース設計から、働く人を支援するICTプラットフォームの構築までを包括的に支援しています。公共分野では、市庁舎・学校・図書館・民間施設など、地域の人々が集う場を新たな拠点として提案し、地域活性化に貢献しています。また、2025年の国際的な学力調査PISAや、日本の文部科学省のCBTシステム「MEXCBT」で使われるプラットフォーム「TAO」の開発元であるルクセンブルクのOAT社を子会社化するなど、教育データの活用も進めています。

### — マネージドPKI Lite byGMOを導入した理由・背景・経緯をお聞かせください。

**校務支援システムご担当者様** 校務支援システムは「ウチダ公共クラウドサービス」として13年以上にわたって提供しているサービスです。生徒の成績などの個人情報扱うため、従来はIPアドレスによる条件付きアクセスやVPNを用いた閉域網での運用が求められていました。しかし、近年の次世代校務への移行に伴い、閉域網ではなく、ゼロトラストを考慮したパブリックネットワークでの運用が求められるようになってきました。その結果、個人情報扱う校務支援システムと、児童・生徒が利用する学習用システムが、従来は別々のネットワークで分離されていたものの、共通のパブリックネットワーク上で処理する必要が生じています。このような背景から、校務支援システムを安全に利用するための認証方式として、クライアント証明書が候補として挙がりました。



### 株式会社内田洋行

上段左から) ICTリサーチ&開発 ディビジョン パブリックソリューション開発部

福祉AP開発課 安田雅彦様 部長 井上由紀夫様 福祉AP開発課 課長 國井孝眞様

下段左から) ICT&プロダクツ デベロップメント事業部 パブリックソリューション開発部

自治体AP開発課 沖本秀飛様 教育校務AP開発課 瀬川政広様

**高齢者介護・障がい者福祉システムご担当者様** 当社は30年以上にわたり高齢者・障がい者向けの介護・福祉システムを提供しています。もともとはオンプレミス型のクライアントサーバーアプリケーションとして施設内で運用されていました。しかし、オンプレミス環境では施設内でしか利用できないという制約があり、利用者からは自宅など施設外でも利用可能な仕組みへの要望が寄せられていました。これを受け、2020年頃からクラウド提供への移行が検討されるようになりました。クラウド移行に伴いよりセキュアな接続方式を模索するなかでクライアント証明書が候補として挙がりました。

## ー 実際に弊社サービスをどのようにご利用いただいていますか？導入されたウェブサイトやサービスについて、具体的な利用用途を教えてください。

**校務支援システムご担当者様** ライセンスボリュームに伴う費用面や設定の柔軟性を考慮し、内田洋行専用の認証局（プライベートCA）を導入しました。そこから発行されるクライアント証明書は、主に先生方のPCに導入されており、一部では共用PCでの利用も行われています。今後は、児童・生徒が使用するタブレットやPCにもクライアント証明書の導入を進める予定です。

**高齢者介護・障がい者福祉システムご担当者様** 校務支援システムと同様に、専用の認証局から発行されたクライアント証明書を利用しています。ユーザは基本的にWindows端末を使用しており、施設内外を問わず安定した認証環境の提供を目指しています。

## 一 他社サービスと比較検討されていたとのことですが、今回GMOグローバルサインのマネージドPKIをお選びいただいた理由がございましたら、お聞かせください。

**校務支援システムご担当者様** GIGAスクール構想に伴う端末の導入にあわせて、Microsoft 365のライセンス（A3やA5モデル）を購入すると、アプリケーションプロキシがバンドルされているため、その場合はアプリケーションプロキシ経由でのアクセスを採用しています。一方で、A3やA5モデルが含まれていない端末については、クライアント証明書による認証方式を採用する方針が決定されました。クライアント証明書の選定にあたっては、他社製品も含めて比較検討を行いました。電子契約サービスにおいて支社が協業を進めているという背景もあり、今回はグローバルサイン社の「マネージドPKI」を採用することとなりました。

**高齢者介護・障がい者福祉システムご担当者様** 導入にあたり、他社のクライアント証明書と比較し、機能の充実度などを踏まえて選定を進めていました。最終的には、校務支援システム側から提案を受け、グローバルサインの証明書を採用することに決定しました。

## 一 導入後、弊社サービスに対するご意見やご感想、さらに今後のセキュリティ強化に関するご予定がございましたらお聞かせください。

**校務支援システムご担当者様** 現在、小中学校での端末でChromebookが増加していることに伴い、Chromebookに関するナレッジがより充実すると非常に助かります。また、業界基準の制約があることは理解していますが、ライセンス契約の年数をより長期化できれば、運用面での負荷が軽減されるため、非常にありがたいと考えています。

**高齢者介護・障がい者福祉システムご担当者様** 高齢者介護システムで約600の施設が、障がい者福祉システムで約400の施設が、それぞれ異なるタイミングでクライアント証明書を導入しているため、証明書の有効期限が施設ごとに異なるという課題があります。今後は、更新作業をどのように効率的に回していくかについて、運用面での工夫が求められます。

 **GlobalSign** by **GMO** **GMOグローバルサイン株式会社**

〒150-0043 東京都渋谷区道玄坂1-2-3 渋谷フクラス  
TEL：03-4545-1800（受付時間：平日10:00～18:00）

グローバルサイン  [検索 \*\*https://jp.globalsign.com/\*\*](https://jp.globalsign.com/)